

2009年10月7日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 山村 研一
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 福永 健司
(電話番号 03-5524-6152)

財団法人ヒューマンサイエンス振興財団との
「膵癌の新規腫瘍マーカー」のライセンス契約締結のお知らせ

株式会社トランスジェニックは、厚生労働大臣認定 TLO (財)ヒューマンサイエンス振興財団ヒューマンサイエンス技術移転センター (HSTTC) と、『国立がんセンターの発明：「膵癌の新規腫瘍マーカー」』の出願特許に関するライセンス契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

この契約により、当社は、本発明の日本国および特定国の通常実施権を取得いたしました。

このたび、実施許諾の対象となった本発明は、膵癌患者において、特定の酸化修飾されたタンパク質を検出し、このタンパク質が膵癌患者特有であることから、このタンパク質が膵癌の腫瘍マーカーとして有用であることを見出したものです。

当社は、当社独自技術である GANP®マウス技術により、当該膵癌腫瘍マーカー候補タンパク質に対する高親和性抗体を作製し、スーパー早期審査制度により、新規膵癌腫瘍マーカー抗体および診断法の特許を取得しております。今回の契約により、当社は、膵癌腫瘍マーカータンパク質、そのタンパク質に対する抗体およびそれらを用いた診断法、並びに診断薬開発に必要な特許すべてをカバーすることになります。これにより、今後、診断薬メーカーへのライセンスングおよび抗体の提供が可能となり、膵癌診断薬開発が円滑にすすむことが期待できます。

なお、本件による平成 22 年 3 月期連結業績への影響は軽微であり、業績予想に変更はございません。

- ◆ご参考 : 厚生労働大臣認定 TLO ヒューマンサイエンス技術移転センター (HSTTC) 概要
HSTTC では、厚生労働省の支援のもとに同省所管の国立試験研究機関等(14 機関)の研究成果が活用され、社会に還元されることを目的として、特許出願、権利化、特許の維持・管理を行ない、当該特許権等に基づき登録会員企業を含む民間企業等へマーケティング及びライセンスングを行っております。現在までに、基礎段階のものから実用化直前のものまで、また、治療剤・予防剤・診断薬のみならず医療機器・介護用具や労働災害防止装置まで幅広い分野から 380 件を超える発明を出願中です。

膵癌

膵癌は、膵臓に発生する癌です。初期が無症状であること、また膵臓そのものが体の奥にあることから、発見が困難であり、癌での死因の第 5 位となっています。現在の診断方法は、血中の CA19-9、CEA、CA50 等の腫瘍マーカーの測定や CT 等の画像診断が実施されています。

以上